

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あすなろ					公表日 令和7年3月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		・ 静養室や更衣室がない ・ 中高生が使用する部屋が狭い ・ 小学生が使用する部屋に、個別活動を行なえるスペースがほしい		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	3		・ 障害特性に応じて、支援がマンツーマンになった際、保護者対応の職員が部屋から出てしまうと、把握をする職員が部屋の中にいないという状態になってしまう		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		・ 1年を通して室内に虫が多くいるため駆除してほしい		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3		・ 部屋の数が少ないため、他児の声や音、動き等が気になり集中することが難しい		
営	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	・ 課の会議のみではなく、日々の打ち合わせにて意見を集められる環境のため周知できている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・ 保護者迎えの際、保護者から意向を聞いたり家庭の様子を聞いたりし、打ち合わせで職員への周知・共有を行なっている	・ 課の会議のみではなく、日々の打ち合わせにて意見を集められる環境のため周知できている		

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・課の会議のみではなく、日々の打ち合わせにて意見を集められる環境のため周知できている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	・監査だけではなくいただいた意見を真摯に受け止め改善に努めている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・法人のホームページ内にて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	・打ち合わせやモニタリングにて行なうことができている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・常に行なうことができている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・連携を図り誰でも行なえる支援を行なっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・主任を主として行なうことができている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・事業所、相談員、学校や保護者、本児と連携をとることができている	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・様々な職員に意見を聞いて行なうことができる	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・各職員、連携して行なうことができる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			・個別支援計画と集団活動を通して行なえているが、時間の都合で難しい時もある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・日誌やクラスノートにて職員間で情報交換や共有を行なっている ・就業時間が違うため終了時に行なうことは難しいが、翌日に必ず周知をしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・各クラスノートを使用し、全体周知、改善に繋げることができる	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・適切な見直しを全職員の意見を聞きながら行なっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		・個別支援計画に反映されている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・声掛け、誘導、見守り時に自己決定が行なえるように工夫されている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・主に児発管だが、事前に担当職員に聴き取りを行ってから参画していた	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・常時行なうことができている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	・学校送迎の際、必ず一人ずつの様子を聞いている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	・多くの情報収集に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・卒業時に必要に応じて行なうことができています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	・未回答1 ・適切に行なうことができている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・未回答1	・特生に応じ支援が必要となり、職員が手薄になり難しいが、内容を工夫して（地元の米を使う、地元の事業所から昼食を購入する等）機会を設けたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	・未回答1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・未回答2 ・迎えの際、共有することができている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・児発管にて行なうことができている	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・モニタリング等で行なうことができています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・行なうことができています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・行なうことができています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	・行なうことができています	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・行なうことができています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・行なうことができています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・行なうことができています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・行なうことができています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・行なうことができています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・消防による公共で必要で活用できる訓練を受けた	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・行なうことができています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・行なうことができています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		・リスクマネジメントを行なうことで安全管理が強化されると思う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・行なうことができています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・行なうことができています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・アンケートは行なっているが、アンガーマネジメント研修は受けていない
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・行なうことができています	